《単位互換提供科目詳細(シラバス)》

*科目 No. 1105

科目概要記入欄

| 科日做安記人懶 | | | | | | | |
|-------------------|--|----------------|--------------------|---------|------------------------------|------|------|
| 1. 開設大学 | 広島経済大学 メディアビジネス学部 | | | 開催 | ■対面(本学) □オンライン(同時・録画・資料提示) | | |
| | | | | 方法 | 日その他(| | |
| | | | | | | | 0 |
| | 正式科目名 副題 | 情報技術と決済シスプルで学ぶ | | 多システ | テムの基礎に | 配当年次 | 3 |
| | | | | 1 / / / | | 受入学年 | 3年以上 |
| | 学問分野 | 番号 | 27 | | 名 社会科学系 | その他 | |
| 3. 担当教員名 | 久保 大支・ビジネス情報学科・助教 | | | | | | |
| 4. 単位数 | 2 単位 5. 開 | | 5. 開講 | 学期 | 前期 | | |
| 6. 開講期間 曜日・時間 | 2024年 4月 16日(火)~ 2024年 8月 6日(火) | | | | | | |
| | 火曜日 9:00 ~ 10:30 | | | | | | |
| 7. 基礎知識の有無 | ・「基礎知識を必要としない科目」 | | | | | | |
| 8. 募集人数 | 人 | 人 9. 選考方法 | | 方法 | なし | | |
| 10. 科目内容· 授業計画 | 「報技術(IT)革命の進展は、金融サービス・金融市場においても急速に様々な構造的変化をもたらしています。本講義では、このようなサービスや市場における電子的な取引について、理論的な分析と実際のケーススタディの両面から考察するためのベースとなる基本的な金融理論、金融知識について学修します。 〈授業計画〉 第 01 回 Ch. 0 イントロダクション:講義概説、成績評価法、目的と方法論Ch. 1 貨幣と金融取引(1):経済主体と経済活動、貨幣の起源/第 02 回 Ch. 1 貨幣と金融取引(2):貨幣の機能、金融取引の基礎概念/第 03 回 Ch. 1 貨幣と金融取引(3):家計の金融行動/第 04 回 Ch. 1 貨幣と金融取引(4):企業の金融行動,市場均衡 Ch. 2 金融取引と不確実性(1):リスクの存在とリスク下の金融行動/第 05 回 Ch. 2 金融取引と不確実性(2):家計の資産選択問題/第 06 回 Ch. 2 金融取引と不確実性(3):企業の資本構成問 Ch. 3 金融市場と金融取引(1):金融市場の分類と機能の概要/第 07 回 Ch. 3 金融市場と金融取引(2):短期金融市場と資本市場/第 08 回 Ch. 3 金融市場と金融取引(2):短期金融市場と資本市場/第 09 回 Ch. 4 決済システムと金融取引(2):決済の定義、決済と決済システム/第 10 回 Ch. 4 決済システムと金融取引(2):決済の定義、決済と決済のテム/第 10 回 Ch. 4 決済システムと金融取引(3):決済リスク/第 12 回 Ch. 5 電子金融取引の現状と社会制度(1):これまでの歴史と現状/第 13 回 Ch. 5 電子金融取引の現状と社会制度(2):現在の法制度/第 14 回 Ch. 5 電子金融取引の現状と社会制度(3):これからの制度の在り方、消費者保護とプライバシー/第 15 回 Ch. 5 電子金融取引の現状と社会制度(4):セキュリティ、電子署名 | | | | | | |
| 11. 試験・評価方法 | ・成績は課題:40%, 定期試験(参照不可):60%の比率で総合的に評価します。・以上にかかわらず課題未提出3回以上で単位認定不能とします。 | | | | | | |
| 12. 別途負担費用 | ありません | | | | | | |
| 13. その他特記事項 | ・電子金融取引 I のより現実的な応用を知るために、後期に開講される電子金融取引 II とセットで履修することが望まれます。 | | | | | | |
| 14. 社会人受講 | 科目等履修生 | (単位付与 | ā) とし ^っ | て受け入 | h | 可 | 否 |
| | 聴講生(単位 | [認定不要] | として | 受け入れ | ı | 可 | 否 |